

WAMT BULLETIN

Wakayama Association Of
Medical Technologists Letter



第43回和歌山県医学検査学会 開催



和歌山城ホール



本会場



和歌山城ホール内

About us

- ✓ 和歌山県保健衛生功労者賞受賞
- ✓ 令和6年度和臨技災害フォーラム
- ✓ 令和6年度全国「検査と健康展」和歌山会場
- ✓ 令和6年度ボランティア活動のできる技師の育成講習会
- ✓ 第43回和歌山県医学検査学会関連事業
- ✓ 第43回和歌山県医学検査学会
- ✓ おまけ
- ✓ お知らせ

No.80

Publication date
2025.August



和歌山県保健衛生功労者賞受賞

令和6年11月14日、令和6年度和歌山県保健衛生・薬事衛生・生活衛生功労者授与式が執り行われ、
当会より2名が和歌山県保健衛生（医事）功労者賞を表彰されました。
受賞に際し、一言ご寄稿いただきました。

この度は皆様のお陰を持ちまして、令和6年度和歌山県保健衛生（医事）功労者表彰を授与頂きました。田中会長におかれましては、公務ご多忙な折にも関わらずご臨席頂き有難うございました。改めまして、この場をお借りして感謝申し上げます。

これも全て職場も含め、技師会の皆様の長きに渡るご指導ご鞭撻のおかげでございます。この賞に恥じぬよう引き続き精進してまいりますので、どうぞよろしくお願い致します。

恩賜財団 済生会和歌山病院 久保 光史



令和6年度和歌山県保健衛生・薬事衛生・生活衛生功労者表彰の授与式が、令和6年11月14日（水）、ホテルアバローム紀の国2階「鳳凰の間」にて執り行われました。

式典は14時開始でしたが、13時より受付が始まり、会場には整然と椅子が並べられていました。指定の席に着くと、スタッフの方から丁寧に式典の流れについて説明を受け、次第に緊張感が高まっていくのを感じました。式典が始まると、まるで学生時代の入学式のような厳粛さがあり、少し照れくさくもありました。県の幹部の方々や来賓の皆様に見守られる中、厳かな雰囲気の中で表彰が行われました。

授与式の間、現職場に就職してから今日までの道のりが思い出されました。班員や班長として技師会活動に携わっていた頃、理事として、そして現在は学術部長として技師会活動に関わらせて頂いていること。これまで多くの先輩方にご指導いただいたことが、走馬灯のようによみがえりました。

今回の受賞は、諸先輩方の支えと、地道に続けてきた活動が評価された結果だと感じており、感謝の気持ちでいっぱいです。会員を代表してこのような賞をいただけたことを誇りに思い、今後も和臨技活動の充実に向けて尽力してまいります。

授賞式の後には、田中会長のご配慮により、岸本知事との記念撮影の機会もいただき、感激いたしました。

最後になりますが、授賞式当日ご臨席くださった田中会長、推薦してくださった理事の皆様、そして会員の皆様に厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

紀南病院 中央臨床検査部 大前 嘉良



厳かな雰囲気の中
執り行われました。

Congratulations on winning the award!

開催テーマ『臨床検査技師は災害医療現場で何ができるか』
～ロジスティック？救護班？それとも…～

日時：令和6年12月1日（日）14：00～16：00

場所：済生会和歌山病院7F講堂

「JIMTEF災害医療研修を受講して」
～わからん略語がいっぱい～

秋田災害対策担当理事

災害医療に携わる上で多くの専門用語や略語が出現します。
本公演では普段携わる事が少ない災害医療関連用語を平易に
解説いただきました。



「災害医療の段階に応じた臨床検査と支援」

東京医療保健大学 医療保健学部

医療栄養学科 臨床検査学専攻

三村 邦裕 先生

講演では災害発生時の基本対応である「CSCATTT」を初期
段階から臨床検査技師が関与できるよう「CSCA3Tts」を唱え
られた。

①Ttsはトリアージ検査、②Ttsは治療検査、③Ttsは搬送検査
で、臨床検査技師にトリアージのための検査スキルが求められる。
①の場合、1)トリアージタグの色区分を理解し、患者がど
のような状態かを瞬時に見極める。2)続いて行われる臨床検査
の優先順位や項目選択を医師に提言できる。3)二次トリアージ
の際に臨床検査技師の有用性を示すことができる。②では
FASTを活用できる臨床検査技師が、③ではFASTやPOCTが実
施できる臨床検査技師が求められるという。今回の参加者は初
期段階から災害現場で活動できることに対し、非常に勇気をも
らう講演となったと思われ、このような臨床検査技師を育成で
きるような企画もしていく必要がある。

「災害フォーラム開催報告」より



venue situation

開催テーマ 臨床検査技師のお仕事を知ってもらおう！！

日時：令和6年12月14日（土）10：00～16：00

場所：イオンモール和歌山 3Fイオンホール



顕微鏡体験



エコー体験



白衣着用



乳房触診体験



検体採取体験



未来の和臨技会員！？



当日は朝から強風と雨模様、昼過ぎには雷が降るといった悪天候の中での開催でした。午前中はなかなか来場者が増えず不安視していましたが、この悪天候が功を奏したのか午後からイオンモール和歌山には多くのお客様が来られ、駐車場も満車状態であったようでした。「検査と健康展」への参加者は158名と昨年の155名を僅かですが上回ることができました。

巷で人気の「はたらく細胞」の影響もあり、小さなお子さんが「顕微鏡を見たい！」と言って入って来られた事、白衣を着て「お医者さんみたいでかっこいい！」と喜んで親御さんが写真を撮られていたことが印象的でした。ターゲットとしている中高生の来場者数は昨年と変わらず少数でしたが、「学校に貼っていたポスターを見て来ました」という高校生が来場され、地道な広報活動にも成果があり嬉しく思いました。また、幼児や小学生と30代、40代の方が親子で多く参加され、「子供も一緒に学べてよかった」や「子供たちが進んで色々な体験をしようとして学べてよかった」というような嬉しいコメントも多く頂きました。コロナ以降、年々、臨床検査技師の知名度は上がっており、仕事内容も知られて来ている中で、更なる一般市民の関心を集めるべく来年の「検査と健康展」和歌山会場の内容充実に向けて頑張りたいと思った1日でした。

令和6年度 全国「検査と健康展」
和歌山会場 報告書
『検査と健康展を終えて』より



実行委員の皆様お疲れ様でした！

来場者：158名



Scan Me!

令和6年度 ボランティアのできる技師の育成講習会

開催テーマ～あなたにもできるDVT（下肢深部静脈血栓症）検診活動～

日時：令和7年2月9日（日）13：00～17：00

場所：済生会和歌山病院 7F多目的ホール

開会の挨拶

秋田災害対策
担当理事



座学



D-ダイマー講義
Quidel Otho POCT
マーケティンググループ
岡 尚人先生



DVT講義
和歌山県立医科大学
附属病院
松下 裕 技師



DVT実習



POCT実習



弾性ストッキング着装

*We appreciate your
instructors!*



echo equipments



避難所等の現場では医療機関で日常的に実施している検査と異なり、災害医療現場で実施する検査法や診断の流れになるため、下肢静脈超音波検査（簡易タイプの装置にて実技）、POCT（D-ダイマー検査）、弾性ストッキングの履き方・履かせ方について学び、災害時に避難所でのDVT検診活動が行える知識と技術を備えた人材育成を行う目的で行われました。

参加者：11名

第43回和歌山県医学検査学会関連事業

日時：令和7年2月22日（土）13：30～

場所：和歌山城ホール 4階大会議室

・伝達講習会 「令和6年度厚生労働省院内感染対策講習会」



講師：ひだか病院 稲葉 芙佐 技師

- ・ 薬剤耐性菌としての地域連携の意義
- ・ 院内感染対策の体制について
- ・ 基本となる院内感染対策について

地方自治体の役割等、ご講演いただきました。

・令和6年度（第37回）和歌山県臨床検査技師会 臨床検査精度管理調査合同報告会

司会

ひだか病院
中尾 光孝 技師
和歌山県立医科大学
附属病院
鈴木 誠也 技師



臨床化学

公立那賀病院
小笠原 志朗 技師



血液凝固

新宮市立
医療センター
南 熊野 技師



免疫血清

日本赤十字社
和歌山医療センター
河西 輝英 技師



一般

和歌山県立医科大学
附属病院
南方 博至 技師



微生物

済生会
和歌山病院
中松 純一 技師



輸血

和歌山県立医科大学
附属病院
富坂 竜矢 技師



生理

日本赤十字社
和歌山医療センター
嶋 清志 技師



病理・細胞

和歌山
労災病院
楠木 結香 技師



フロア



和歌山県臨床検査技師会精度管理調査は和歌山県下の参加施設数で最大の外部精度管理事業であり、和歌山県、和歌山県医師会、及び和歌山県病院協会の後援のもと行われております。

昨今では日臨技精度管理システムへの移行や施設別評価実施など、利便性や重要性が増しています。報告会では各設問の回答の傾向や問題点の提示、質疑応答など有意義な報告が行われました。



venue situation

参加者：65名

第43回和歌山県医学検査学会 意見交換会



Thank you for your participation.

実行委員の皆様
ありがとうございました！



翌日は本番です

第43回和歌山県医学検査学会開催

未来を開くコミュニティの再構築 ～あなたとわたしに今、できること～

会期 令和7年2月23日(日)

会場 和歌山城ホール 4階 大会議室

学会長 栗林 伴有 (日本赤十字社和歌山医療センター)

実行委員長 森下 陽子 (日本赤十字社和歌山医療センター)

一般演題

一般演題1

和歌山県立医科大学
附属病院
鈴木 誠也 技師
多項目自動分析装置XR-1000に
おける低地白血球モードの評価



一般演題2

和歌山県立医科大学
附属病院
橋之口 大輝 技師
寒冷凝集素検体での血小板偽性
変化を認めた症例



一般演題3

済生会和歌山病院
間部 雄斗 技師
ポカルトン測定試薬「LATECLE
PCT試薬」の基礎的検討



一般演題4

橋本市民病院
守本 結衣 技師
肝炎ウイルス撲滅対策を当院
でも始めました



一般演題5

和歌山県立医科大学
附属病院
玉置 綺良理 技師
血液型における自動分析機と
用手法の不一致を経験して



一般演題6

日本赤十字社
和歌山医療センター
林 朱 技師
当院における妊孕性温存療法の
現状と今後の課題



一般演題7

独立行政法人労働者健康安全機構
和歌山労災病院
北田 佳緒理 技師
(代理発表 田中 真理 技師)
当院の病理検査室におけるチーム
医療について



座長の皆様



Opening Remarks

第43回和歌山県医学検査学会開催

一般演題

一般演題8

日本赤十字社
和歌山医療センター
山崎 一馬 技師
令和6年能登半島地震における
日赤救護班としての活動報告



一般演題9

橋本市民病院
秋田 豊和 技師
病院機能評価受審を機に変更
したパニック値報告の運用



一般演題10

和歌山県立医科大学附属病院
齋木 恭 技師
当院における
Clostridioides difficile検査の
現状とNAAT導入効果



一般演題11

ひだか病院
鎌田 花音 技師
血液培養陽性症例における
検査運用の再構築



一般演題12

橋本市民病院
LSIメディアンス検査室
松本 実樹 技師
当院における過去5年間の血液
培養検査の実施状況



一般演題13

日本赤十字社
和歌山医療センター
川野 友彰 技師
神経伝導検査が有用であった上腕
動脈穿刺後正中神経障害の一症例



一般演題14

和歌山県立医科大学
附属病院
福田 まりも 技師
心電計の精度管理～QP-245D
導入と課題～



一般演題15

日本赤十字社
和歌山医療センター
下村 未来 技師
心療内科におけるCVRR検査の
有用性について



一般演題16

新宮市立医療センター
南 熊野 技師
輸血が契機となり鉛中毒と
診断された一症例



一般演題17

独立行政法人労働者健康安全機構
和歌山労災病院
衣奈 諒亮 技師
マイコプラズマおよびヒトパルボウイルスの重
複感染をきっかけに急激な貧血を
来した遺伝性球状赤血球症疾患児
の一例



一般演題では17演題の発表があり、多岐にわたる演目の発表がありました。身近な課題に関する内容や稀な症例の発表などあり、参加者としても大変有意義でありました。

座長の皆様



migiwa
standard

第43回和歌山県医学検査学会開催

特別講演・ランチョンセミナー

サイバー攻撃対策について



和歌山県警察本部より

検査室を通じた
地域医療連携

栄研化学株式会社
マーケティング室
マーケティング部
提案営業推進課
藤松 徹先生



snapshot



企業展示



Thanks For
Your Support

その他多くの賛助会員のご支援に心より感謝申し上げます。

実行委員



The Staff of the 43rd Annual Meeting

Thank you for hosting this event!



The 44th Annual Meeting of
the Wakayama Society of
Medical Laboratory Science .
January 31(sat)-
February 1(sun),2026
Venue:Kinan Cultural Hall
President:Yoshiaki Oomae

参加者：143名

和臨技会員が作る 和歌山漫遊記

和歌山県各地の魅力を臨床検査技師が発信します！今回は国道424号～168号沿線の一部をご紹介します。

和歌山県下各地の魅力を発信します！



和歌山を南北に縦断する道路といえば近畿自動車道紀勢線や国道424号線を想起いたします。海沿いの路線で全国的にも有名な観光名所やグルメ、風光明媚な海岸線の景色など話題に事欠きません。しかし、和歌山県はそのほとんどが山間地であります。今回はその山間地を縦断する主要道424号線～168号線をほんの少し紹介しました。休日などはツーリングやドライブ客など賑っており、昼間は渋滞レスで気持ちいいドライブが約束されます。ただ…夜間走行時、時期によっては人より鹿などの野生動物たちとたびたび遭遇することに注意が必要でしょう(笑) (車での所要時間 2時間30分程度)



次号の掲載予定

令和7年度 和臨技 オリエンテーション

開催日:令和7年4月12日
場所:済生会和歌山病院
7階 講堂



令和7年度 和歌山県 臨床検査技師会 定時総会

開催日:令和7年6月7日
場所:済生会和歌山病院
7階 講堂
新理事を紹介!



和臨技 第25回学術部 一泊合同研修会

開催日:
令和7年6月21日~22日
場所:亀の井ホテル紀伊田辺



青年部活動

upcoming event!



学術部の紹介

次号では勉強会の様子などをお届けします。
(一部掲載の写真は令和6年当時の学術部班員)



編集後記



熊野本宮大社 旧社地
「大斎原」

パンダが帰りました。お別れ前に「ひと目でも」と多くの方がアドベンチャーワールドを訪れた様子が報道されていました。小生も生パンダを拝んでみたかったのですが、あと一歩行動力が足りず会うことは叶いませんでした。しかし、時間がかかるかもしれませんが、いつの日か白浜に帰って来るような気がするの自分だけでしょうか。和歌山といえばパンダ!のような全国的なイメージがこのあと、どうなるんだろうと心配してしまいますが、有り余る自然資源が次の和歌山を印象づけるかも…と思いました。

発行所
一般社団法人 和歌山県
臨床検査技師会
〒640-8153
和歌山市十二番丁45
済生会和歌山病院 診療技術部
臨床検査科内
和歌山県臨床検査技師会
事務局 久保 光史
TEL 073-424-9805
FAX 073-424-9806
URL:
<http://www.waringi@saiseikai-wakayama.jp>
E-MAIL:waringi@saiseikai-wakayama.jp
発行人 田中 規仁
担当編集 葛原 和紀